

## [084\_03] 法政研究表紙奥付

<https://hdl.handle.net/2324/1901721>

---

出版情報：法政研究. 84 (3), 2017-12-14. 九州大学法政学会  
バージョン：  
権利関係：

土井 政和 教授 著作目録

著書、編著

- 『現代刑事政策』（石原明・藤岡一郎・荒川雅行と共著）  
青林書院 二〇〇〇年
- クラウス・ラウベントール『ドイツ行刑法』（堀雄と共訳）  
橋正協会 二〇〇六年
- 『更生保護制度改革のゆくえ』（刑事立法研究会編・土井編著）  
現代人文社 二〇〇七年
- 『非拘禁的措置と社会内処遇の課題と展望』（刑事立法研究会編・土井編著）  
現代人文社 二〇一二年

教科書等の一部執筆

- 『現代刑法学原論〔総論〕改訂版』（刑法理論研究会編）  
三省堂 一九八七年
- 『刑法マテリアルズ―〔総論〕』（西原春夫他編）  
柏書房 一九九五年
- 『新刑事政策入門』（大塚仁編）  
青林書院 一九九五年
- 『現代刑法学原論〔総論〕第3版』（刑法理論研究会編）  
三省堂 一九九六年
- 『入門・監獄改革』（刑事立法研究会編）  
日本評論社 一九九六年
- 『少年法と適正手続』（澤登俊雄・斎藤豊治編）  
成文堂 一九九八年
- 『現代青林講義・刑事政策』（加藤久雄・瀬川晃編）  
青林書院 一九九八年

論文

- 「犯罪者援助と社会復帰行刑（一）」（九大法学四七号） 一九八四年
- 「犯罪者援助と社会復帰行刑（二・完）」（九大法学四八号） 一九八五年
- 「社会的援助としての行刑（序説）」（法政研究五一巻一号） 一九八四年
- 「『隔離収容』に関する一考察（一）」（法政研究五三巻二号） 一九八七年
- 「イギリスにおける受刑者の隔離収容（上）」（法政研究五四巻二〇四号） 一九八八年
- 「西ドイツ―行刑法の理念に遠く及ばぬ実務」
- 総合特集シリーズ法学セミナー増刊『監獄の現在』 一九八八年
- 「受刑者の社会復帰の権利」『現代における刑事法学の課題―井上祐司先生退官記念論集―』（権歌書房） 一九八九年
- （横山晃一郎・土井政和共編著）
- 「行刑における被害者の観点」（法政研究五六巻三〇四号） 一九九〇年
- 「行刑と福祉―西ドイツにおける『新しい刑事政策』の試みを中心にして―」
- 矯正協会百周年記念論文集第三巻） 矯正協会 一九九〇年
- 「西ドイツ行刑の現状と行刑法改正案」（刑政一〇一巻一号） 一九九〇年
- 「九〇年代の行刑―経済性・効率性と人間的処遇―」（九州矯正三三六号） 一九九一年
- 「仮釈放と適正手続―受刑者の仮釈放申請権と不服申立てを中心にして」（犯罪と非行一〇八号） 一九九六年
- 「ドイツの少年司法」（季刊刑事弁護八号） 一九九六年
- 「未決被拘留者への社会的援助―弁護士はどこまでできるか？」（季刊刑事弁護九号） 一九九七年

「ドイツにおける少年警察をめぐる最近の動向」

中山研一先生古稀祝賀論文集第五卷『刑法の展開』

成文堂

一九九七年

『「国際化」の中の「日本型行刑」』

(刑法雑誌三七卷一七号)

一九九七年

「少年院・教護院と保護・更生」

(法学セミナー五一七号)

一九九七年

「事実認定をめぐる少年法改正・対審化論の検討」

(法律時報七〇巻八号)

一九九八年

「更生保護への期待」

(更生保護五〇巻一七号)

一九九九年

「公務員犯罪」

(法学セミナー五三九号)

一九九九年

「世界の刑事思潮から見た更生保護の将来—ドイツにおける最近の動向を中心として」

『更生保護の課題と展望—更生保護制度50周年記念論文集』

(法務省保護局)

一九九九年

「犯罪論・刑罰論と量刑のあり方」

(季刊刑事弁護三〇号)

二〇〇二年

「日本における刑務所改革の課題と展望」

刑事立法研究会『21世紀の刑事施設—グローバル・スタンダードと市民参加』

日本評論社

二〇〇三年

「刑事施設における社会的援助と市民参加」

刑事立法研究会『21世紀の刑事施設—グローバル・スタンダードと市民参加』

日本評論社

二〇〇三年

「刑務所のアカウンタビリティ—イギリスの制度を中心にして—」

『刑事実体法と裁判手続—法学博士井上正治先生追悼論集』

九州大学出版会

二〇〇三年

「イギリスにおける刑務所の透明性の確保について」

(龍谷大学矯正・保護研究センター研究年報一号)

二〇〇四年

「『21世紀の行刑法』と行刑改革会議提言の意義」刑事立法研究会『刑務所改革のゆくえ』

現代人文社

二〇〇五年

「『刑事施設及び受刑者処遇等に関する法律案』について」

(法律時報七七卷五号)

二〇〇五年

「イギリスにおける少年司法政策の最近の動向」

(自由と正義五六卷九号)

二〇〇五年

「矯正の現状と課題」

『少年法の課題と展望第2巻』(斉藤豊治・守屋克彦編)

成文堂

二〇〇六年

「社会復帰のための処遇」『刑務所改革』(菊田幸一・海渡雄一編)

日本評論社

二〇〇七年

「特集 新受刑者処遇法の諸問題 企画の趣旨」

(刑法雑誌四六卷三号)

二〇〇七年

「更生保護制度改革の動向と課題」刑事立法研究会『更生保護制度改革のゆくえ』現代人文社

日本評論社

二〇〇七年

「日本における社会内処遇制度改革の動向と課題」(特集 社会内処遇制度改革の日韓比較)

(龍谷大学矯正・保護研究センター研究年報四号)

二〇〇七年

「更生保護基本法要綱試案」刑事立法研究会社会内処遇班(共著)

法律文化社

二〇〇八年

「更生保護基本法要綱試案」刑事立法研究会社会内処遇班(共著)

(龍谷大学矯正・保護研究センター研究年報五号)

二〇〇八年

- 「日本の刑事施設と国連拷問禁止委員会勧告」 (国際人権一九九号) 二〇〇八年
- 「PFI刑務所と社会復帰支援の新たな展開と課題」 PFI研究会編集委員会『PFI刑務所の新しい試み―島根あさひ社会復帰促進センターの挑戦と課題―』 成文堂 二〇〇九年
- 「特集 刑務所への民間参入の意義と課題―PFI刑務所をめぐって(企画の趣旨)」 (刑法雑誌四八卷三号) 二〇〇九年
- 「刑事司法と社会福祉」 (学士会会報二〇一一年四号) 二〇一一年
- 「日本における非拘禁的措置と社会内処遇の課題」 現代人文社 二〇一二年
- 『非拘禁的措置と社会内処遇の課題と展望』(刑事立法研究会編) 二〇一二年
- 「PFI刑務所の現状と課題」 (犯罪と非行一七二号) 二〇一四年
- 「刑務所における福祉と医療」 (刑政一二五卷一号) 二〇一四年
- 「刑事司法と福祉の連携をめぐる今日的課題」 (犯罪社会学研究三九号) 二〇一四年
- 「いじめと警察」 (日本教育法学会年報四三三号) 二〇一四年
- 「刑事司法と福祉の連携―現状と課題」 (月刊福祉九八卷一〇号) 二〇一五年
- 「ドイツの社会内処遇―バーデン・ヴュルテンベルク州における保護観察の民間委託を中心として」 (更生保護学研究七号) 二〇一五年
- 紹介・翻訳・解説・報告等
- 「J・M・ホイスリンク「死の思想―哲学的な死の観念と自殺、オイタナジーにとっての人類学的問題史的意味」(紹介) (法政研究四四卷二号) 一九七七年

- 「世界の未決拘禁法―ハンガリー」(紹介・横山晃一郎と共同執筆) (法律時報五〇巻三号) 一九七八年
- 「ギンター・カイザー『刑罰学の比較的考察―吾々は、刑罰について何を知っているか』」 (翻訳) (法政研究五〇巻二号) 一九八四年
- 「アルビン・エーザー『法の緊張領域におかれている研究者―科学及び技術の自由と責任について』」 (翻訳) (法政研究五二巻一号) 一九八五年
- 「Hudson v. Palmer. — U.S. —, 104 S.Ct. 3194 (1984) — 受刑者は、第4修正の保障をうける前提である居房におけるプライバシーの合理的期待をもたない」(紹介) (アメリカ法 一九八六一—) 一九八六年
- 「社会民主法律家協会『西ドイツ連邦再社会化法案』」(資料) (法政研究五七巻二号) 一九九一年
- 「情状酌量」、「仮釈放・保護観察」 (法学セミナー四三九号) 一九九一年
- 「刑事拘禁法要綱試案」(刑事立法研究会・共著) (法律時報六三巻六号) 一九九一年
- 「学会回顧・刑事政策」(石塚伸一と共著) (法律時報六三巻二二号) 一九九一年
- 「ゲルハルト・タイムリンク編『チェーザレ・ベッカリア／ヨーロッパにおける近代刑事司法の始期』(一九八九)(資料) (九州ベッカリア研究会) (法政研究五八巻二二号) 一九九二年
- 「条文からスタート、刑」[9条、11条、12条、13条] (法学教室一四〇号) 一九九二年
- 「扉の中からのハローワーク」(石塚伸一と共著) (法学セミナー四四九号) 一九九二年
- 「学界回顧・刑事政策」 (法律時報六四巻一三三号) 一九九二年
- 「ヨーロッパにおける行刑改革(四)「イギリスの行刑白書『収容、ケア、および公正―イン グランド・ウェールズにおける行刑の将来像』」 (警察研究六四巻三三三号) 一九九三年

- 「学界回顧・刑事政策」 (法律時報六五卷一三三号) 一九九三年
- 「H・シューラー・シュプリンゴム『社会的周縁者の犯罪』」(翻訳) (法政研究六二卷一号) 一九九五年
- 「所一彦著『刑事政策の基礎理論』」(書評) (犯罪社会学研究二〇号) 一九九五年
- 「一貫した社会的援助(刑政時評)」 (刑政一〇八卷四号) 一九九七年
- 「ホラー・ビデオと少年犯罪(刑政時評)」 (刑政一〇八卷一〇号) 一九九七年
- 「ドイツ少年裁判所法及び同法基準」(武内謙治と共訳) (法政研究六四卷一号) 一九九七年
- 「シネマ法学入門『人間関係と死刑制度―デッドマン・ウォーキング』」(法学教室二〇三号) 一九九七年
- 「F.E.Zimling, G.Hawkins: Incapacitation—Penal Confinement and the Restraint of Crime. Oxford Univ. Press 1995 (紹介)」 (アメリカ法一九九七二) 一九九七年
- 「未決被勾留者に対する社会的援助(刑政時評)」 (刑政一〇九卷四号) 一九九八年
- 「ドイツ刑法20周年の評価(刑政時評)」 (刑政一〇九卷一〇号) 一九九八年
- 「石塚伸一著『社会的法治国家と刑事立法政策』」(書評) (法の科学二八号) 一九九九年
- 「受刑者の受信・発信した信書の一部抹消と憲法21条(判例解説)」 (平成一〇年度重要判例解説ジュリスト臨時増刊) 一九九九年
- 「収容継続に対する抗告(判例解説)」 (別冊ジュリスト少年法判例百選) 一九九九年
- 「行刑」「矯正」「更生保護」「社会内処遇」「受刑者処遇」「犯罪人名簿」「復権」「保護観察」「保護司」「保護処分」(解説)『現代法律百科大事典』 ぎょうせい 二〇〇〇年



- 「監獄破産論」「教誨」「矯正」「矯正医学」「矯正教育」「矯正施設」「矯正職員」「国際連合・犯罪防止及び犯罪者処遇会議」「施設内処遇」「社会復帰」「自由刑単一化論」「週末拘禁」「単一刑論」「犯罪者処遇」「犯罪被害者等給付金支給法」「被害者」「被害者学」「被害者補償」「被害調査」「被害弁償」「被拘禁者処遇最低基準規則」(解説)『刑事法辞典』  
信山社 二〇〇三年
- 「緊急座談会 刑務所改革の到達点とゆくえ―『刑事施設及び受刑者の処遇等に関する法律案』をめぐって」(土井政和、村井敏邦、中川孝博)『刑務所改革のゆくえ』(刑事立法研究会) 現代人文社 二〇〇五年
- 「安形静男『社会内処遇の形成と展開』」(書評) (犯罪社会学研究三一号) 二〇〇六年
- 「浜井浩一『刑務所の風景』」(書評) (法学セミナー六三〇号) 二〇〇七年
- 「日本の犯罪と刑罰」 (行政書士ふくおか) 二〇〇九年
- 「村井敏邦『裁判員のための刑事法ガイド(法律文化社二〇〇八)』」(書評) (刑政二〇〇九年五月号) 二〇〇九年
- 「吉岡一男著『日本における犯罪現象―刑事学各論の試み』」(書評) (犯罪社会学研究三四号) 二〇〇九年
- 「刑事司法と福祉の連携に関する調査研究(スウェーデン)報告」(刑事立法研究会社会内処遇班) (龍谷法学四六卷三号) 二〇一四年

その他

- 「九州矯正研究会に出席して」(感想) (九州矯正三三卷四号) 一九八〇年
- 「ラストチャンス計画について―法学者の立場から」(九州矯正研究会報告) (九州矯正三二七号) 一九八七年
- 「現代刑事法学の視点―土井政和『社会的援助としての行刑(序説)』同『犯罪者援助と社会復帰行刑(一)(二完)』加藤久雄評釈に対する原著者コメント」(法律時報五九卷五号) 一九八七年
- 「マックス・プランク外国国際刑法研究所」(雑報) (法政研究別冊フォーラム第四号) 一九八九年
- 「西ドイツの小村で学んだこと」(雑報) (ふおるく(日本ドイツ民主共和国友好協会福岡支部機関紙)三七号) 一九九〇年
- 「九州法学会シンポジウム『新しい行刑の在り方』」(報告) (法政研究第五七卷三号) 一九九一年
- 「ドキッとしたこと」(随筆) (法政研究別冊フォーラム第六号) 一九九一年
- 「体罰による人権侵犯事件に關与して」(福法だより二二二号) 一九九一年
- 「体罰事件と人権擁護委員制度」(青年法律家一九九一年二月号) 一九九一年
- 「大野城殺人事件コメント・刑事政策の立場から」(子どもの未来は人類の未来・創刊号) 一九九一年
- 「体罰による人権侵犯事件に關与して」(委員だより六一号) 一九九二年
- 「社会内処遇の課題」(講演) (九州更生保護一七号) 一九九四年
- 「少年院への送致基準」(座談会) (子どもの未来は人類の未来・第二号) 一九九四年
- 「子どもの人権をめぐる現状と法的課題」(九州法学会一九九六年春季大会シンポジウム) (九州法学会会報一九九六) 一九九七年

「少年非行とその処遇」(講演) 「平成11年度児童環境づくり推進機構事業福岡県立大学公開講座IV講義録『子どもたちをはぐくむ社会をめざして』福岡県立大学・(財)福岡県地域福祉振興基金

二〇〇〇年

「比較法的にみた宗教教誨の意義と将来」(講演・全国教誨師連盟創立五〇周年記念大会)

(全国教誨師連盟創立五〇周年記念大会報告集)

二〇〇六年

「島根あさひ社会復帰促進センター開所五周年記念フォーラム」(パネリスト)

(島根あさひ社会復帰促進センター開所五周年記念フォーラム報告書)

二〇一三年